



京都第一赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。Our world.Your move.

心療内科 完全予約制のお知らせ

当院では令和2年4月1日(水)から従前より実施しております診療科に加えて、心療内科においても初診患者さまの完全予約制を実施させていただきます。

当院は地域医療支援病院の役割として外来診療機能の適正化を図り、ご紹介いただく患者さまの待ち時間軽減を図るとともに診療の質を高めてまいりますので、ご協力いただきますようお願いする次第です。

なお、当院への外来診療予約については医療機関さまからのFAXによるお申し込みを受け付けておりますので、引き続きご利用くださいますようお願い申し上げます。

完全予約制診療科

●整形外科 ●血液内科 ●腎臓内科・腎不全科 ●小児外科
●呼吸器外科 ●心臓血管外科 ●放射線治療科 ●心療内科

令和2年度 京都第一赤十字病院 病診連携懇話会の開催延期について

例年7月上旬に開催しております病診連携懇話会については、新型コロナウイルス感染対策の観点から同時期での開催は延期させていただくことになりました。なお、現時点で開催時期は未定でございます。

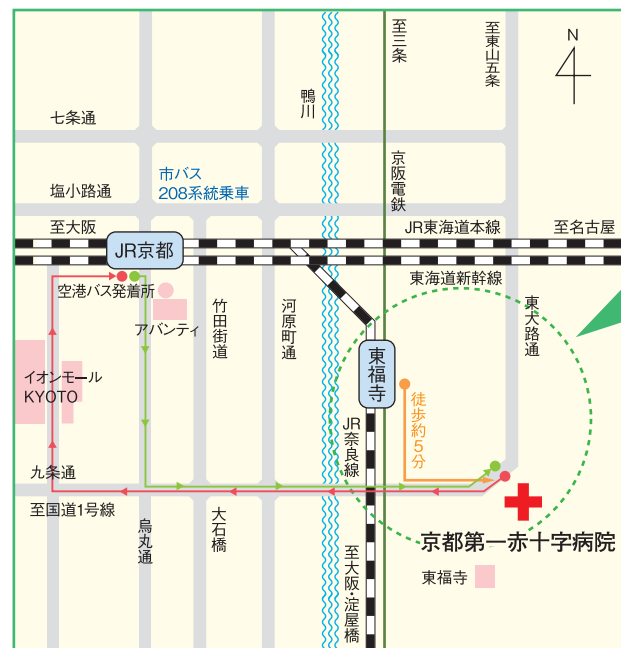
開催時期の決定もしくは中止については、次号にてお知らせします。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室

Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】…京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】…国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】……竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

無料シャトルタクシー運行のご案内【JR京都駅八条口⇔病院(地下鉄九条駅経由)】

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10、以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行しておりません。

※12:30病院発の便は運行していません。

※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。
※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。
※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。

Contents

就任のご挨拶	2,3
診療科のご紹介	4,5
連携医療機関のご紹介	6,7
お知らせ	8

今年の冬は記録的な温かさで、桜の開花も平年に比べ早くなりましたが、春先からの新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国に緊急事態宣言が発令され今なお世界に深刻な影響を及ぼしています。

また、少子高齢化を背景とした人口減少社会の本格的な到来に伴い、我が国の地域医療を取り巻く環境も年々厳しくなっています。

こうした中、当院が高度急性期医療の提供を通じ、安心安全な地域社会づくりに貢献していく上では、連携施設の皆様をはじめとする地域医療機関との連携強化が何よりも重要です。

当院では、一昨年度のロボット手術装置「ダ・ヴィンチ」や血管造影撮影装置(バイブレーション)に続き、昨年度は3テスラのMRIの導入を行いました。

また、今後、「緩和ケア病棟」の開設に向けた準備も進めていく予定です。

これらの新たな施設設備も活用しながら、当院に期待される「地域医療支援病院」としての機能をさらに発揮してまいりたいと考えておりますので、連携施設の皆様の特段の御理解、御協力をお願いいたします。

事務部長 岩永 美好



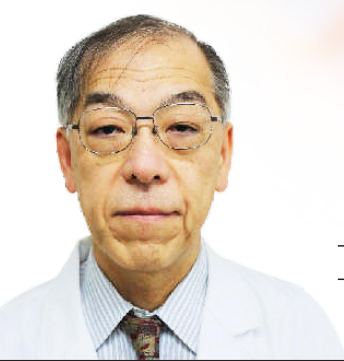
Assumption
of office greetings

Japanese Red Cross
Kyoto Daiichi Hospital

就任のご挨拶

Masashi Nishida

この度、本年4月1日より小児科部長を拝命いたしました。私は、昭和58年に京都府立医科大学を卒業後、京都府立医科大学小児科学教室に入局し、同付属病院、景岳会南大阪病院、京都市立病院勤務を経て、京都府立医科大学大学院に入学し腎臓病学に関する研究に従事しました。その後能登川町国民健康保険能登川病院、国立舞鶴病院、京都府立医科大学小児科学教室にて勤務後、米国バンダービルト大学小児腎臓科に研究員として留学し、帰国後、京都府立医科大学



小児科／部長

西田 眞佐志

小児疾患研究施設内科部門、京都府立医科大学小児循環器・腎臓科、同小児科にて主に小児腎臓病の診療、研究、教育に従事してきました。当院では以前から小児腎臓外来を担当させていただいております。

一方当院小児科は、京都市南部地域における小児医療の中核病院として、新生児科における周産期医療とともに小児の急性疾患、慢性疾患、小児救急など幅広く対応する必要があります。同時に小児医療では、将来の成人期を視野に入れた長期的な視点で診療することも必要です。私もさらに研鑽を積み、地域の小児科診療および小児医療の発展のために努力して参る所存です。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

〔卒業年〕
昭和58年

〔認定医・専門等資格名〕
小児科専門医・腎臓専門医
日本腎臓学会認定指導医
日本小児科学会指導医
京都府立医科大学客員教授

Takahisa Sawada

令和2年4月1日付で副院長を拝命した沢田尚久です。昭和61年に京都府立医科大学を卒業後、松下記念病院、綾部市立病院、府立医大付属病院などを経て、平成25年度から2度目の当院勤務となります。副院長としての担当領域は、働き方改革、救命救急、周産期母子医療、放射線、リハビリテーション、検査部門、などです。

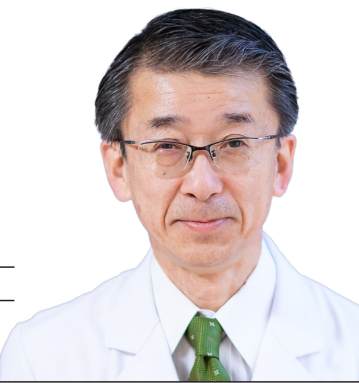
今回の診療報酬改定では「医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進」が重点項目となりました。厚労省は昨年3月に「令和6年度以降、医師の時間外労働は年間960時間以下、地域医療確保暫定特例水準・研修医等の集中的技能向上水準では1860時間以下に規制する」方針を出しました。今回改定では「救急搬送年間2000件以上、かつ勤務医労働時間短縮計画の策定・体制整備を行った病院に、入院料に520点を上乗せする」ことが決定しました。具体内容としては、労働時間管理の適正化、36協定等の点検励行、産業保健の仕組み活用、タスク・シフティング、女性医師支援、医師労働時間短縮の取り組み、の6項目です。医師は医師にしか出来ない仕事に特化して生産性と付加価値を上げるべきですが、タスク・シフティングは看護師・薬剤師・技師・事務職など他職種の仕事を増加させることとなります。更なるクリニカルパス推進、定型業務や会議の簡素化など、医療従事者全体の業務量を削減することが大切です。

当院が5年後10年後も輝いて地域医療に貢献出来るよう微力を尽くしたいと思います。どうぞご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

〔卒業年〕
昭和61年

〔専門領域〕
循環器疾患全般、虚血性心疾患
生活習慣病

〔認定医・専門等資格名〕
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医・日本循環器学会近畿支部評議員
心臓病学会特別正会員（FJCC）
日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）名誉専門医
京都府立医科大学臨床教授



副院長

沢田 尚久

Kan Koizumi

この度、眼科部長を拝命致しました。

昭和62年に大阪医科大学を卒業し、兵庫県立尼崎病院、京都第二赤十字病院、京都府立医科大学、京都市立病院を経て、京都第一赤十字病院にお世話になることとなりました。

専門は網膜硝子体手術ですが、前任地の京都市立病院には16年間勤務致しましたので、眼瞼、白内障難症例、緑内障、斜視、眼感染症など、様々な眼疾患を経験させて頂きました。その中には自信を持って対処できた症例、迷いながら何とか解決できた症例、力及ばず視機能改善を得られなかった症例、今なお続けて診ている不安定な症例など、数多くの忘れられない症例があります。

多忙に追われて知識のアップデートが不十分である不安もあり、60歳を目前にして今後の医療者人生で本当に良い診療

〔卒業年〕昭和62年

〔認定医・専門等資格名〕眼科専門医

ができるようにとの思いで、リセットの意味を含め今回の異動を選択致しました。

手術治療につきましては、網膜硝子体、白内障は難症例を含めてwelcomeで、緑内障は低侵襲緑内障手術と初回の濾過手術までを守備範囲とします。

地域のニーズに応える診療ができますよう努力致しますので、御指導、御鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。



眼科／部長

小泉 閑

診療科のご紹介

・乳 腺 外 科 ・ 形 成 外 科



(診療スタッフ 敬称略) 前列左から、[乳腺外科]糸井 尚子、李 哲柱 [形成外科]岩井 伸哉、江野尻 竜樹(非常勤) 後列左から、[乳腺外科]本田 晶子、森本 雅美、北野 早映

乳 腺 外 科 ／ 部 長

李 哲柱

病診連携の先生方には日頃大変お世話になっております、この場を借りて厚く御礼申し上げます。私は、乳腺外科部長の李哲柱です。1982年京都府立医科大学卒業以来、外科医として38年間乳癌診療に携わってきました。この間、乳癌治療は目覚ましく変化・進歩しました。たとえば手術方法では、胸筋をすべて合併切除し腋窩リンパ節郭清を徹底的に行うハルステッドの手術が当時定型の手術と呼ばれていましたが、その後大胸筋を残す胸筋温存乳房切除術、乳房の大部分を残す乳房温存術、リンパ節郭清を省略するためのセンチネルリンパ節生検、乳輪乳頭温存乳腺全摘＋乳房同時再建術(形成外科とコラボレーション)等々。私自身大学時代も含め幾千もの乳癌患者様に対し様々な手術、内分泌療法、化学療法、分子標的治療、最近では免疫治療などもさせていただいております。そして多くの患者様に刺激され、教えられ、時には

激励されながら常にその時代の最先端医療(保険適応内)を提供できるよう、関連学会活動や定期的に自身を取り仕切る勉強会・研究会など日々研鑽に努めて参りました。また市民公開講座や乳腺フォーラムを開催し地域の啓蒙活動も積極的に行ってきました。ふと気付いて周囲を見渡せば、いつの間にか、実臨床に携わっている乳腺外科医の中で最古参になってしまいました。数年前からは大学の要請で、京都府立医科大学北部医療センターにも定期的に指導に出向いております。一方この間、優秀な乳腺外科医・コメディカルも育ち、それぞれの地域で乳癌治療の責任者として活躍しております。

この春、徳島大学より遺伝子診療に明るい森本医長がスタッフに加わり、新体制となった我が乳腺外科は、「今まで以上に充実した乳癌治療を実践したい」と、心・新たにしております。

[卒業年]
昭和57年

[専門領域]
乳腺

[認定医・専門等資格名]
日本乳癌学会 認定医・専門医・指導医
日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 認定医
近畿外科学会 評議委員
日本臨床外科学会 評議委員
日本乳癌学会 評議員
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医・暫定教育医

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
エキスパンダー・インプラント実施責任医師
マンモグラフィ検診精度管理委員会
マンモグラフィ読影認定医
京都府立医科大学臨床教授
京都府立医科大学客員講師
乳房文化研究会会員

	月	火	水	木	金
一診	李	糸井	森本	李／北野 (午後予約のみ)	北野
二診	糸井			糸井	

乳 腺 外 科 ／ 副 部 長

糸井 尚子

乳腺外科 副部長の糸井尚子と申します。

新年度が始まり、本来ならばウキウキとした楽しい雰囲気包まれているはずですが、全世界では新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。病診連携の先生方におかれましても日々対策に追われておられることと存じます。

乳腺外科では今のところ幸い大きな影響はでておらず、乳がん患者さんにいつもと変わらない診療が届けられるよう、診療体制を整えています。

乳がん領域での大きな変化と言えば、この春の診療報酬改定で『遺伝性乳がん卵巣がん症候群』の原因遺伝子であるBRCA1/2遺伝子検査が保険適応となったことです。BRCA1/2遺伝子検査は、今までは再発乳がん患者さんのみの保険適応でしたが、若年発症、家族歴が濃厚、トリプルネガティブ乳がんなどの条件があれば実施可能となりました。また、予防的な乳房切除術、卵巣切除術も保険

診療とし実施可能となりました。4月から乳腺外科に赴任された森本医長は、臨床遺伝専門医の資格をお持ちですので、協力しながら診療にあたっていきたいと思います。

また、がん領域全体でいえば、昨年よりがんゲノム診療(遺伝子パネル検査)が本格的に開始されました。これまでの臓器別の治療方針ではなく、がんの遺伝子変異に応じた治療の提供を目指すものです。希望される全ての患者さんが受けられる検査ではありませんし、遺伝子変異が見つかったとしても対応する薬剤がなかったり、未承認薬や適応外使用となるなど色々な問題も残されていますが、データを蓄積することによって次世代のがん治療につながっていくものと期待しています。

新型コロナに負けず、より良い乳がん治療を提供できるよう乳腺外科一同がんばって参りますので、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

[卒業年]
平成11年

[認定医・専門等資格名]
日本乳癌学会 認定医・専門医・指導医
日本外科学会 専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
乳房再建エキスパンダー・インプラント実施責任医師

マンモグラフィ検診精度管理委員会
マンモグラフィ読影認定医
若年がんを考える会 世話人
HBOCセミナー修了

形 成 外 科 ／ 部 長

岩井 伸哉

2016年9月より、常勤体制での診療を再開してから3年半となります。おかげさまで、多くの患者様をご紹介いただき、毎年200件前後の手術件数を維持しています。主な診療分野の現況です。

再 建 手 術

[乳房再建]

乳腺外科と連携し、インプラント(人工乳房)、自家組織再建いずれも行っています。また、タトゥーも導入していますので、乳輪乳頭まで含めた再建まで可能です。

[頭頸部再建]

頭頸部外科と連携し、舌癌・咽頭癌・歯肉癌切除後の、遊離皮弁再建や骨性再建も行っています。また外科とも連携して遊離空腸移植も行っています。その他にも整形外科領域の軟部悪性腫瘍や、婦人科領域の悪性腫瘍など、ご要望に応じて再建手術を行っています。

先 天 異 常

主に耳介や手足の先天異常の手術を行っています。京都大学形成外科と連携しており、場合によっては、紹介させていただくこともあります。フォームを用いた耳介変形の矯正治療もしています。耳介矯正は生後2ヶ月以内に始めるのが良いため、なるべく早期にご紹介ください。

【2019年 手術実績】

疾患大分類手技数

外傷	32
先天異常	12
腫瘍・再建	70
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	34
難治性潰瘍	14
炎症・変性疾患	9
その他	7

[卒業年]
平成16年

[認定医・専門等資格名]
日本形成外科学会専門医
小児形成外科分野指導医
乳房再建エキスパンダー／インプラント責任医師
再建・マイクロサージャリー分野指導医

	月	火	水	木	金
一診	岩井(午後)		岩井		岩井(午後)

医療法人 辻医院

連携医療機関のご紹介

平成8年4月に伏見区の西の端である久我で父の跡を継ぎ開業医となりました。それまでは研修医を終えてからずっと京都府立医科大学病院付属病院を含め大阪・京都の中核病院で循環器を勉強してきました。病院勤務中は狭心症や心筋梗塞など、冠動脈の動脈硬化が進んだ結果として生じた血管の狭くなった部分をカテーテルによって拡げる治療(PCI)を数多くやってきました。ただ、開業する時に勤務医時代を振り返ってみて、入院患者さんに対する治療が主で外来患者さんに対する気遣いが不十分であったと感じました。言い換えると、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の合併症を起こしてしまった患者さんの治療を優先していたと気付いたのです。

当院の通院患者さんの多くは高血圧や不整脈などの循環器疾患ですが、開業した循環器専門医として大切と考えているのが勤務医時代の反省を踏まえて、生活習慣病の合併症である狭心症・心筋梗塞・脳梗塞などの動脈硬化性疾患の発症予防です。そのため動脈硬化の重要な危険因子である糖尿病や脂質異常症の方もたくさん診察しています。きっちりとした治療をするには、ご自身の病気を十分に理解した上で納得して通院して頂く必要があります。

診 療 時 間	月	火	水	木	金	土
9 : 00 - 12 : 00	●	●	●	●	●	●
17 : 00 - 20 : 00	●	●	●	/	●	/

〒612-8492
京都市伏見区久我本町5-8 駐車場：15台あり

Tel. 075-921-0157 Fax. 075-934-8685

TSUJI CLINIC

そこで初診時には時間をかけて病気の説明をし、日常生活で気を付けなければならない事も詳しくお話しています。「合併症を発症したために病院のお世話になる」というようなこと無く、元気に80歳台を迎えて頂けることを願いながら毎日の診療に臨んでいます。

合併症予防に欠かせないのが禁煙です。当院では保険適応で禁煙指導を行っており、年間約20名の方に指導しています。また難治性高血圧にしばしば認められるのが睡眠時無呼吸症候群です。いびきが大きく日中に眠気を感じる方や夜間から早朝の血圧がなかなか下がらない方に多く見られます。睡眠時無呼吸症候群を比較的容易に診断できる簡易PSG検査も当院で行え、約30名の患者さんをC-PAPで治療しています。

現在、私は伏見医師会の会長をしています。総会員数620名余りで京都市最大の地区医師会で、「地域医療」・「学術」・「親睦」をモットーに活動しています。先輩の先生方はかなり以前から「地域医療」の重要性に着目し、今ほどの超高齢化社会ではなかった平成7年に医師会立の居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションを設立されました。現在も行政や消防署とも協力しながら在宅医療の行いやすい環境

作りに努力しています。「学術」では種々の分野の専門医が研究会を設立し、会員の診療レベル向上のため積極的に勉強会を開催しています。研究会によっては他地区の先生方にも好評で参加者が50名を超える盛大なものもあります。またランチョンセミナーでも中核病院の専門医の先生から各分野の最新情報を教えて頂いています。伏見医師会の会員の先生方は勉強熱心な方が多く、どの会も盛況なので会長としては嬉しい限りです。その他、観劇や日帰り旅行を企画し会員同士の「親睦」も心掛けています。また、昭和35年から60年間続いている月刊誌「伏見医報」は記録・広報・娯楽の役割を果たし、伏見医師会の自慢です。

最後になりましたが、京都第一赤十字病院の先生方には多くの会員との病診連携でお世話になっているばかりでなく、会員に対しランチョンセミナーや学術集談会で最新の医療をご教授頂いており、心から感謝申し上げます。これからも引き続きよろしくお願いいたします。



医療法人 辻医院 / 院長

辻 光

Hikari Tsuji